

環境についてみんなで考えよう

# かんきょう通信

環境政策課

町民・事業者の連携と協働の取り組み

## 厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画

厚岸町豊かな環境を守り育てる基本計画では、50年後のめざす環境の姿『持続可能な産業と生活のために』の実現に向け、『産業と共存するまちづくり』『環境を保全するまちづくり』『良好な自然を生かすまちづくり』『快適で住み良いまちづくり』『資源やエネルギーを有効利用するまちづくり』『環境教育・環境学習を推進するまちづくり』の6項目の施策の基本方針を掲げ、関連施策の柱として16項目を、さらに102の事項に細分化しています。

これら102項目については、『町、町民、事業者の行動指針』として、町の役割、町民の役割、事業者の役割を明記しています。

また、これら102項目のほかに13項目を『環境定量目標』として設定し、平成28年度までの具体的な目標値を定めています。

今回は、この計画の『平成19年度結果報告及び平成20年度中間評価』の進捗管理についてお知らせします。

### ■環境定量目標の達成率

(平成28年度までの具体的な目標値を定めた13項目)

項目	目標値	達成率(H19)	計画前(H18)
恒久的家畜ふん尿処理施設の整備率	100%	95.7%	89.3%
下水道普及率	76%	62.9%	60.0%
下水道水洗化率	90%	66.2%	58.1%
生活排水施設総合普及率	80%	71.5%	69.8%
無立木地の解消の促進	毎年造成	造成	造成
河畔林造成の推進	毎年造成	造成	造成
水源かん養林の計画的な取得	毎年取得	取得	取得
一般廃棄物のリサイクル率	30%	10.5%	9.9%
一般廃棄物排出量	12%削減	9.5%削減	0.7%削減
生ごみ堆肥化率	90%	13.6%	12.7%
環境対策型漁船エンジンの使用	100%	35.8%	33.0%
二酸化炭素排出量※	10.8%削減	14.4%削減	—
低公害車導入率	30%	7.4%	7.3%

●目標値～目標年度である平成28年度の目標値

●達成率～目標値に対しての平成19年度における達成率

※町の公共施設における二酸化炭素排出量

13項目のうち、二酸化炭素排出量の削減について、目標を達成しました。

残り12項目についても、目標達成に向け、今後も取り組みを行っていきます。



(※『進行管理』とは、『厚岸町環境マネジメントシステム』の手法に基づきPDCAサイクルにより行い、施策の効果や実効性を点検評価し、翌年度以降の予算の確保の優先順位や実施時期などの調整を図ること)

102項目の『町、町民、事業者の行動指針』のうち、平成19年度の結果は『達成』が63項目、『達成に向け進行中』が38項目、『当期該当なし』が1事業でした。現在進行中の平成20年度中間評価では、『達成』が20項目、『運用中』が82項目となっています。

また、102項目のほかに『環境定量目標』として設定した13項目の平成19年度における達成率の結果は表のとおりです。

今後、庁内組織である『環境政策調整会議』と町民組織の『町民検討会議』で点検・評価を行いながら、計画を推進していきます。

●環境基本計画に関する問い合わせ／環境衛生係 ☎内線254

廃食用油は固めずに資源ごみに出しましょう

資源となるごみを収集する際、食用油に凝固剤を入れてからボトルに入れて出しているのが見受けられます。この場合、リサイクルできませんので、廃食用油には何も入れず、天かすなどを取り除いてから出しましょう。

廃食用油はディーゼル車の燃料(BDF)として生まれ変わっており、町のごみ収集車一台もBDFを燃料として走っています。月平均約500リットル収集した廃食用油は売却し、BDF約400リットルを収集車一台で使用しています。廃食用油は凝固剤で固めず、資源となるごみとして出しましょう。

●問い合わせ／廃棄物対策係 ☎内線252

### 11月の状況

●11月のごみ収集・持込量 354,005kg

ごみの種類	ごみ量(kg)	前月比(%)	前年同月比(%)
燃やせるごみ	254,215	△11.7	△12.9
燃やせないごみ	25,765	△15.1	△54.0
資源となるごみ	55,810	△17.9	55.2
粗大ごみ	17,600	△42.5	△46.0
有害なごみ	615	△16.9	—
計	354,005	△15.2	△15.0

※先月と比べ資源となるごみの量が12,160kg減りました。

●11月の資源となるごみとして収集したごみの割合13.97%